

さとう知一

ともかず

41歳



県議会本会議登壇



厚木市にてヒアリング



県営水道放射能調査

2011年活動報告



団体ヒアリング



食料自給率について意見発表



あつぎ鮎まつり



震災から半年(岩手県遠野市)



汚泥撤去作業(岩手県大船渡市)



厚木市七沢での農作業

「安心・安全」が第一。

県議会民主党会派では、「安全・安心な医療・福祉を実現するプロジェクトチーム(医療・福祉PT)」が招集され、「高齢者・子ども施策」のリーダーとPT副事務局長に佐藤知一が就任しました。

東日本大震災の復旧復興に伴う「街づくり」の中で、「虚弱高齢者と元気高齢者共存」は大きなテーマです。日本は「平均寿命」「高齢者数」「高齢化スピード」において世界一の高齢化社会です。

超高齢社会コミュニティのあり方を探り、併せて、子育て環境の充実施策も提案して参ります。

東日本大震災による影響が各地域に広がっています。人口減少・高齢化に直面する地域や、旧来の繁華街の賑わいが失われた地域という課題に対しては、行政のみならず「広く県民の力を結集すること」なくしては克服することはできません。

県行政は、県民の不安を取り除き「安心・安全な暮らし」と「夢を描ける日々」の確保に努めなければなりません。さとう知一は、常に生活者と子どもたちに陽のあたる各種の事業実施がなされるよう議会活動を行っています

さとう知一プロフィール

略歴

厚木生まれ厚木育ち。41歳。
日大藤沢高校・慶応義塾大学・早稲田大学大学院・卒業。
修士論文テーマは「厚木の環境と農業政策」。大学と大学院の学費は全て、慶応義塾奨学金ほか3つの奨学金により、自力調達し卒業。

神奈川県議会役職

県民企業常任委員会 震災対策調査特別委員会

その他役職

慶応義塾大学 SFC研究所 上席所員(訪問)
早稲田大学 大隈塾フェロー
慶応義塾全国議員連盟 副代表(全国副代表)
神奈川県環境審議会委員 / 社宅建協会顧問
あつぎ鮎まつり 副実行委員長(2008/2010)
厚木市消防団員 / 厚木青年会議所シニアクラブ / 野菜ソムリエ

献血回数

現在151回(16歳から継続中)

「初心を忘れず」行動。

政治に対する信頼が、問われている今だからこそ、日々の活動が問われています。佐藤知一は、選挙の有無に関らず、毎朝、駅頭・交差点での議会報告を続けています。(通算 1,452 日目 / 2011 年 12 月 1 日現在)
街頭演説は、佐藤知一の原点です。初心を忘れることなく、県政に取組みます。

【欠かさぬ活動報告】

毎日行っている早朝街頭議会報告に加えて、ブログでは、10年4か月にわたって、一日も欠かすことなく、活動記録を公開し続けて参りました。厚木市や神奈川県を始め、街づくりツールの一つとして活用している自治体も多くある「ツイッター」ですが、佐藤知一も現場活動中に活用し、多くの県民からご意見などを頂いています。私のツイッターフォロワー(登録者)は、既に3万人を超えています。

【七沢リハビリ】

2つの病院と5つの福祉施設にて構成される厚木市七沢の県総合リハビリテーションセンターは、施設の老朽化に伴い再整備が計画されています。大幅に縮小しての再整備ですが、必要な役割や機能を果せる様、強く求めて参ります。

【渋滞解消に全力】

厚木市内の渋滞解消に向けて、以下の協議会の委員・顧問に就任致しました。
「中津川堤防道路整備促進協議会」「座間荻野線建設促進協議会」「国道412号線建設改良促進協議会」等です。東日本大震災の際、東北道等の高速道路は、1日で応急復旧し緊急輸送路として機能し多くの命が救われました。被災した太平洋沿岸への東西の国道等全16ルートについては、翌日には11ルートを確保、4日目に15ルートを確保しました。被災時、速やかにトラックによる生活救援物資、船舶による燃料輸送など各交通モードが、特性を活かした輸送が実施できたことは、防災の見地からも重要です。

活動報告

本会議に立つ

民主党県会議員

さとう知一

新幹線新駅ツインシティの整備に関しては、厚木市も構成市の一つです。

新幹線新駅ツインシティの整備に関しては、厚木市も構成市の一つです。

9月21日、県会一般質問「被害・ヤマビル対策」等、初日に民主党を代表して、厚木市民の視点に立つて、本会議質疑に立ちました。時間一杯、質問しました。

厚木代表として 県央都市圏整備

「七沢リハビリテーションセンター」再整備「有害鳥獣」が進行する中、東海道新幹

線新駅とリニア中央新幹線、県内駅を誘致し、全国との交流連携窓口となる2つのゲートを形成します。この2つを繋ぐ南北軸を相模線

今年4月から施行された暴力団排除条例の実行性を高めるべく、努めています。青少年の健全な育成を図り、安心して暮らせる社会の実現を目指します。



2011年9月21日 県会本会議場

神奈川県議会議員 さとう知一

厚木生まれ厚木育ち。41歳。厚幼・厚小・厚中・日大藤沢高校 慶応大学・早稲田大学院卒業。

これまで、阪神大震災やスマトラ沖大地震津波被害(スリランカ)現場に入り活動を重ねてきました。(後に厚木市消防団入団)被災地で、がれきや汚泥撤去作業の活動を継続すると共に震災対策特別委員として対策に当たっています。

被災地復興へ



ご協力よろしく
お願いいたします。

厚木市民の皆さま (神奈川県政についてアンケートのご依頼)

日ごろより御理解と御協力を頂き、誠にありがとうございます。「全員野球」をモットーに市民・県民の方々のお知恵とお力を頂きながら、毎日の政治活動を行なわせて頂いております。アンケートを実施し、議会一般質問をはじめ、政策として皆様の声を政策に活かす活動をして参りました。今回は県政についてのアンケートです。

お手数ですが、右記アンケートご記入のうえ、FAX(もしくは郵便・電子メール)にて、ご返信頂ければ幸いです。

頂戴致しましたご提案・ご意見につきましては、責任を持ちまして、現場に伝え、今後の県政運営の参考とさせていただきます。佐藤知一の議会活動の際にも皆様方からの声として、お伝えさせて頂くつもりです。(もちろん、皆様方のお名前につきましては、一切の公表は致しません。)

今後ともご支援いただけますよう、宜しくお願いいたします。



皆さまの声を
お聞かせください。

選択肢のあるものは、番号に「○」をつけて下さい。

Q1 現在、「神奈川県」が良く取り組んでいると思う項目はどれですか。(複数回答は2つまで可。)

- 1、治安対策
- 2、行財政改革
- 3、環境対策
- 4、震災対策
- 5、交通渋滞の緩和策
- 6、教育政策
- 7、街づくり・地域活性化
- 8、その他 ()

Q2 「神奈川県」の行財政改革について今後、特に力を入れて進めてほしい項目は何ですか。(複数回答は2つまで可。)

- 1、県政に関する情報提供・県民ニーズの把握
- 2、県民の参画を得て、県民とともにすすめる県政(パートナーシップによる県政)
- 3、行政評価の実施・活用
- 4、外郭団体の見直し
- 5、職員数の削減
- 6、業務の民間委託や民営化
- 7、県庁・庁内改革の推進
- 8、職員の意識改革、資質の向上
- 9、接遇やマナーの向上など、県民の視点に立った改善
- 10、その他 ()

Q3 差し支えない場合は、お名前・ご連絡先をお記してください。

お名前・
ご連絡先

Q4 その他、ご意見などございましたら、お書きください。たりない場合は、別の用紙をご利用ください。

コチラに送信ください **FAX.046-221-5544**

郵送 / 厚木市寿町1-2-3-101 民主党 さとう知一事務所宛
電子メール / sfc310@hotmail.com

さとう知一 検索 satotomokazu.wordpress.com

*ブログは毎日更新中! 活動報告を毎日コツコツ公開し既に10年目。「継続は力なり」が信条。

ご協力ありがとうございました。皆様の声は「神奈川県政」に反映させて頂きます。